

I 調査結果の概要

1 個人経営体（全国1経営体当たり平均）

(1) 漁船漁業

主として漁船漁業を営む個人経営の漁労収入は908万円、漁労支出は649万円、漁労所得は259万円であった。

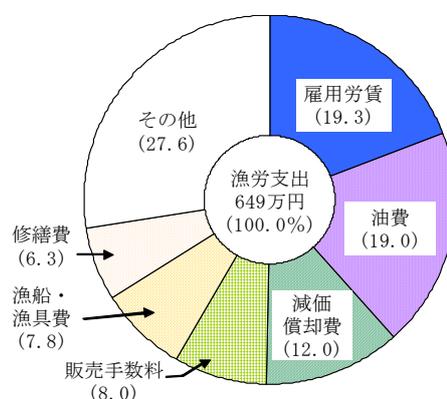
また、漁労所得に漁労外事業所得を加えた事業所得は263万円であった。

漁労支出の構成割合をみると、雇用労賃が19.3%と最も高く、次いで油費の19.0%、減価償却費の12.0%の順となっている。

表 個人経営体（漁船漁業）の経営収支
（全国1経営体当たり平均）

区 分	金 額	構成割合
	万円	%
漁労所得	259	-
漁労収入	908	-
漁労支出	649	100.0
うち、雇用労賃	126	19.3
油費	123	19.0
減価償却費	78	12.0
漁労外事業所得	5	-
事業所得	263	-

図 漁労支出の構成割合



注：1 本年は、調査体系等の大幅な見直しを行ったため、前年比較は行っていない。
2 集計数は313経営体である。

(2) ぶり類養殖業

主としてぶり類養殖業を営む個人経営体の漁労収入は1億478万円、漁労支出は9,396万円で、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は1,081万円であった。

また、漁労所得に漁労外事業所得を加えた事業所得は890万円であった。

(3) のり類養殖業

主としてのり類養殖業を営む個人経営体の漁労収入は1,804万円、漁労支出は1,229万円で、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は574万円であった。

また、漁労所得に漁労外事業所得を加えた事業所得は587万円であった。

2 会社経営体（漁船漁業：全国1経営体当たり平均）

主として漁船漁業を営む会社経営の漁労売上高は2億8,979万円、漁労支出（漁労売上原価と漁労販売費及び一般管理費の合計）は2億9,878万円、漁労利益はマイナス899万円であった。

また、漁労利益に漁労外利益を加えた営業利益はマイナス325万円であった。